

『ウルトラライトハイキング』のページ

[『長期縦走原論』のページへのリンク](#)

[『ウルトラライトハイキング』という本について\(金子みすゞ風総括\)](#)

[『長期縦走原論』と『ウルトラライトハイキング』の比較対照表\(類似表現や言い回しの数々をご検証下さい\)](#)

『ウルトラライトハイキング』

山と溪谷社

土屋智哉著

2011年2月25日発行

292g

『長期縦走原論』

私家版

山姥とその仲間著

2007年6月1日発行

2009年4月24日校正版発行

622g

このページは、『ウルトラライトハイキング』と拙著『長期縦走原論』における表現、言い回しの類似性について、検証するための叩き台として作成したものです。

『ウルトラライトハイキング』という本の存在を知ったのは、筆者から直接送られてきたからです。まさか『長期縦走原論』と関係ある本とは思っていませんでしたが、パラパラと眺めていて怪訝な感を受けました。

何もこの本を『とんでも本』とは思いませんし、山歩きの本としては極標準的なレベルです。

しかし、気になったので類似表現を比較した対照表を作ってみました。気の進まないやつつけ仕事ですから、不足の点や思い過ぎの所もあるかもしれませんが、類似表現、言い回しが多く驚きました。

以後、弁護士と何度も相談を重ねました。

まず対照表(掲載したものの初期版、コメントなし)を添付して出版社の意向、著者の考えを確かめたところ、[剽窃には当たらないとの見解](#)でした。当方の見解とは異なります。

相手は老舗の山岳書出版社、今をときめくウルトラライトハイキングの伝道師かつ専門用品店主、それに対し当方は単なる趣味の一人。きっちりと司法の場で結論を得たい反面、一介の個人にとって彼らを相手にすることは、物理的にも精神的にも大変負担が大きく躊躇しています。また、唯一の証拠である比較対照表をもっと正確に厳密に完成させ、自らの主張をより確かなものとする必要も感じます。

そして悩みましたが、今のところは取りあえずキッチリ資料(対照表)を作り上げ、最終手段に訴えるのはそれからでも遅くはないと考えるようになりました。

[『長期縦走原論』のページ](#)には、『ウルトラライトハイキング』に対する[総括批評](#)と、[比較対照表](#)をアップしたものの、アクセス数は極少です。そこで、新たにサイトを立ち上げ多くの人からの意見をお聞きして、比較表作りと今後の対処の参考にさせて頂きたいと思いました。(2011.9. 29. 記)